様式2

まちづくり交付金　事後評価シート

東海市西部・南部地区

平成21年3月

愛知県東海市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	東海市	地区名	東海市西部・南部地区		面積	750ha
交付期間	平成16年度　～　平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	1,046百万円	国費率	0.4	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路（市道横須賀駅前通り線、市道元浜線、市道加木屋大池線）、公園（天神下公園、西ノ丁公園、大堀公園、社宮司公園、加家緑道、加木屋南公園、横須賀緑道）、地域生活基盤施設（環境保全林、施設案内板）
	提案事業	地域創造支援事業(公園用地創造事業)、まちづくり活動推進事業（森づくりシンポジウム、産業道路美化事業、街区公園計画ワークショップ）、事業活用調査(環境保全林基本構想)

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	公園（柳ヶ坪史跡整備、岩屋口史跡公園）	岩屋口史跡公園の用地確保の調整により削除(延期)する。	影響あり（数値指標1．一人当たりの都市公園面積に影響する）
	提案事業	なし		
新たに追加した事業	基幹事業	道路（市道川南新田堤線、市道東海6号線）	歩行者の安全の確保や公園のネットワークの整備が必要となったため、道路を新たに追加する。	影響なし
	提案事業	地域創造支援事業(道路事業（踏切改良負担金）)、事業活用調査(事業評価調査)	市道加木屋大池線事業区間内にある踏切改良が、名古屋鉄道への負担金となるため、事業を追加する。	影響なし

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
当　初	平成16年度　～　平成20年度		影響なし
変　更			

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	一人あたりの都市公園面積	㎡/人	9.31	H16 公表値（H14）	9.91	H20		9.20	△	あり		数値としては減少傾向にあるものの、人口と公園整備面積は増加していることから、人口の伸びに公園の整備面積が追いついていないと言える。	平成21年5月
										なし	●		
指標2	一人あたりの緑地面積	㎡/人	86.83	H16 公表値（H14）	88.80	H20		#REF!	×	あり		緑地指定を行い保全を図ろうとしたが、緑地面積は減少した。一方で、人口が増加したことにより、指標項目に減少が見られたと考えられる。	平成21年5月
										なし	●		
指標3	公園緑地に対する市民の満足度	%	53.3	H16 公表値（H15）	60.0	H20		#REF!	△	あり		目標達成していないものの、数値は増加したことから、一定の効果はみられる。公園総面積の伸びと比較すると、満足度と連動している。	平成21年6月
										なし	●		
指標4	安全、安心と思える歩道がある場合	%	52.4	H16 公表値（H14）	55.5	H20		#REF!	○	あり		着実に段差の改良を実施しており目標は達成されている。目標設定の妥当性に疑問（H14-H15のペース：1.4%/年で進めていってもH19末時点で59.3%）	平成21年4月
										なし			
指標5										あり			
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	市が管理する公園緑地の延べ面積	ha	212	H15				#REF!			まちづくり交付金事業により、着実に公園緑地面積を増やすことができた。	平成21年4月
その他の数値指標2	地域活動・ボランティア活動に参加している人の割合	%	19.0	H17				24.4			森づくりシンポジウムや公園づくりワークショップを通じて、市民が広くまちづくりに関与できる場がつくられ、数値に反映することができた。	平成21年5月
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

まちづくり交付金事業をきっかけとしたワークショップ開催に加えて、主要幹線道路沿いに立地する民間企業のCSR活動による清掃活動がスタートするなど、事業者も巻き込んだまちづくりの気運が高まりつつある。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	・産業道路美化事業 ・街区公園計画ワークショップ ・森づくりシンポジウム ・公園や緑地の日常の維持管理、清掃等は住民に行ってもらう	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・今後も周辺企業とともに産業道路の清掃活動を実施していく。 ・今後も出来るだけワークショップを開催しながら公園を整備するとともに、公園開設後の維持管理方法について、地域住民との協働方法を検討する。 ・環境保全林の樹木育成ボランティア事業を引き続き実施していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	・公園や緑地の日常の維持管理、清掃等は住民に行ってもらう	都市再生整備計画に記載し、実施できた		平成19年度から加木屋南公園の花壇管理を行っている「加南花咲かせ隊」に対して、継続した管理を行ってもらうようサポート体制を検討していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

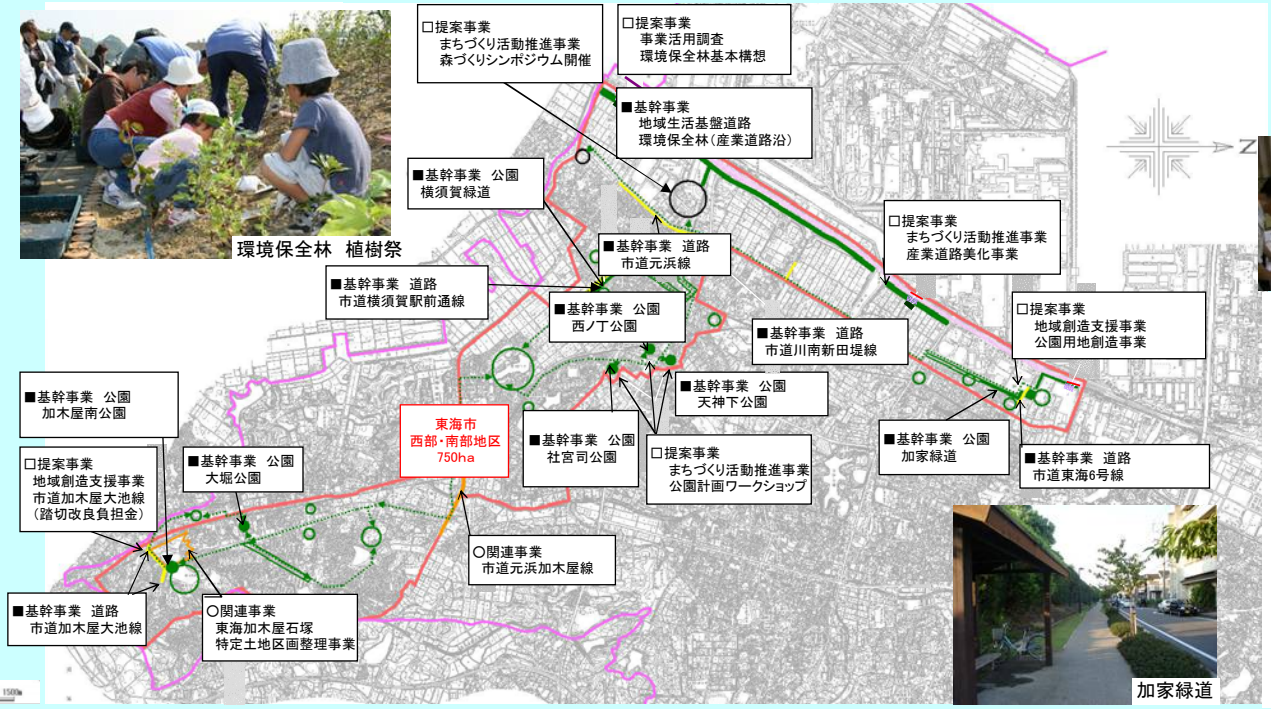
東海市西部・南部地区（愛知県東海市）　まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
地区の住民が自ら公園計画や緑地づくりに参加することにより、環境への意識の向上を目指す。また、これらの公園や緑地と既存の公園を一体的に考え、途中の道路を安全に歩けるよう改良を加えることにより公園緑地のネットワークをつくる。 あわせて、歴史的遺産を施設整備しこの公園緑地のネットワークとともに観光客を呼べるまちを目指す。	一人あたりの都市公園面積	単位：㎡/人	9.31	H14	9.91	H20	#REF!	H20
	一人あたりの緑地面積	単位：㎡/人	86.83	H14	88.8	H20	#REF!	H20
	公園緑地に対する市民の満足度	単位：%	53.3	H15	60.0	H20	#REF!	H20
	安全、安心と思える歩道がある場合	単位：%	52.4	H14	55.5	H20	#REF!	H20
	市が管理する公園緑地の延べ面積	単位：ha	212	H15			226	H20
	地域活動・ボランティア活動に参加している人の割合	単位：%	19.0	H17			24.4	H20

加木屋南公園

環境保全林　植樹祭

市道加木屋大池線



公園計画ワークショップ

加家緑道

凡　例

	計　画　区　域
	市　　域
	公園事業予定箇所
	緑地事業予定箇所
	道路事業予定箇所
	美化活動予定箇所
	関　連　事　業
	既　設　公　園　等

まちの課題の変化	・シンポジウム等により、公園緑地に対する住民意識の向上を図ることができた。 ・人口増加に対応した公園整備の推進が必要である。同時に、人口増加の要因ともなっている民間開発等により存続が危ぶまれている地域の緑地について、保全を図る必要がある。 ・地域の防災機能の向上を望む住民意向を踏まえ、地域住民が安心して暮らすことのできる社会基盤整備を迅速に行う必要がある。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	■都市基盤整備や環境保全をきっかけとしたまちづくり活動の推進 個別事業の計画策定、整備、維持管理のそれぞれの段階で地域住民や市民団体、NPO等の参画を促進し、継続的なまちづくり活動への展開を働きかける。 ■人口増加に対応した公園緑地整備の推進、公園緑地をはじめとする身近な自然環境の整備・保全・活用 緩衝緑地帯の機能を維持しながらも、地域住民が緑に触れ合うことのできる場を確保する必要最小限の整備とする。地区南端に位置する「加南ふれあいの森」は、地元コミュニティが野菜作りや炭焼きなどの活動を実践しており、今後の継続した活動を担保し、地域活性化の促進のため用地取得を行う。 ■安心して暮らすことのできる環境整備 東海地震・東南海地震などへの対策のため、県が指定している緊急輸送道路および隣接する道路の整備を推進する。また、発災時の一時避難場所としての街区公園の整備を行う。